

天使病院を受診された患者のみな様へ

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんのでお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。

研 究 課 題 名	妊娠糖尿病患者における将来的な耐糖能異常発症のリスクおよびリスク因子に関する検討
研 究 の 対 象	妊娠糖尿病の診断で当院糖尿病・代謝センターで治療歴があり、2022年6月時点で同科に継続的に通院されている女性。
研 究 目 的 ・ 方 法	妊娠中は食後の高血糖・高インスリン血症を来し、胎児発育を促す重要なメカニズムとなっている。妊娠糖尿病では、インスリン抵抗性が亢進し、インスリン分泌とのバランスが崩れるために母体および胎児の血糖値が許容範囲を超えて上昇し、種々の周産期合併症を引き起こすと言われている。また、妊娠糖尿病既往女性ではそうでない女性と比較して将来高率に糖尿病を発症することが知られている。しかし妊娠糖尿病既往女性において、産後の糖尿病発症の頻度やリスク因子は報告によってまちまちである。本研究では当院で出産後、2022年6月時点で当院糖尿病・代謝センターに継続的に通院している妊娠糖尿病既往女性において、産後糖尿病発症の頻度を調査し、さらに糖尿病発症者と非発症者の背景を比較することにより産後糖尿病発症のリスク因子について検討し、日本人妊娠糖尿病患者の糖代謝予後について調査するものである。
研 究 期 間	3年以内
研 究 に 用 いる 試 料 ・ 情 報 の 種 類	①患者背景：年齢、身長、体重、既往歴、家族歴、分娩記録、血糖値、HbA1c、50gグルコースチャレンジテスト/75g糖負荷試験の結果、合併症の有無など。 ②産後に糖尿病を発症したか、発症した場合どの時点で発症したか、発症者の割合はどの程度か。 ③糖尿病発症者と非発症者について統計学的に比較検討し、糖尿病発症のリスク因子を検討する。
外 部 へ の 試 料 ・ 情 報 の 提 供	なし
外 部 か ら の 試 料 ・ 情 報 の 提 供	なし
研 究 組 織	当院糖尿病・代謝センター
問合せ先及び研究への 利用を拒否する場合の 連 絡 先	〒065-8611 北海道札幌市東区北12条東3丁目1-1 社会医療法人 母恋 天使病院 (所属) 糖尿病・代謝センター (氏名) 崎山 信哉 TEL : 011-711-0101(代表) FAX : 011-751-1708